

3D モデルアップロード手順書

注意事項	1
推奨環境	2
症例3Dモデルデータの作成	3
改訂履歴	12

注意事項

Holoeyes XR ご利用前に、以下の注意事項をご確認ください。



事故、健康被害、物的損傷を防ぐための重要な安全性情報です。



製品の損傷を予防し、正しい測定結果を得るために重要な事柄です。



製品を効率よく使うためのヒントです。

推奨環境

3Dモデルアップロードは、Holoeyes XR サービスサイト上で行います。
サービスサイトでのWeb操作の推奨環境は以下の通りです。

推奨環境	
OS	Windows 8、Windows 10、Mac OS X 10.13 以降
ブラウザ	Google Chrome 最新版

注意

推奨環境外でサービスサイトをご利用いただいた場合、一部の機能が使えない可能性があります。

症例3Dモデルデータの作成

1. アップロードする3Dポリゴンデータを STL または OBJ 形式(※)のファイルで用意します。

参照

- ご利用のワークステーション等からの STL/OBJ ファイルの出力方法は、ワークステーション及びそのバージョンにより、異なります。ワークステーション販売元メーカーさまにお問い合わせください。
- アップロードできるファイルの容量制限は、1つの STL/OBJ ファイルあたり「50MB」以内です。ファイルの個数に制限はありません。
- 個々の STL/OBJ ファイルごとに、色や透明度を設定します。ご利用用途に合わせて、臓器単位などでファイルを分けてご用意ください。

2. Holoeyes XR サービスサイト <https://xr.holoeyes.jp/> にログインします。

3. 「症例3Dモデルデータ」のタブを選択し、続いて「新規作成」ボタンを選択します。



4. 必要事項を入力し、「登録する」ボタンを選択します。

Holoeyes XR 症例3Dモデルデータ バーチャルセッション お問い合わせ ケース数0 / 利用可能ケース数5 JP

新規症例3Dモデルデータ

タイトル **必須** Spain A

倍率 1 3 5 10 100 1000

備考

タグ タグをスペース区切りで入力してください

登録する

任意のタイトルを入力します。患者様の個人情報を含まないようご注意ください。

アプリでの初期表示の大きさを設定します。

サービスサイト「症例3Dモデルデータ一覧」ページで、タグによる検索ができます。

🔦 参照

アプリ内で変更できるのは倍率のみです。その他の設定を変更する場合には、サービスサイト上で操作をします。

5. 3Dポリゴンデータをアップロードします。右上の「アップロード」ボタンを選択します。

Holoeyes XR 症例3Dモデルデータ バーチャルセッション お問い合わせ ケース数1 / 利用可能ケース数5 JP

Spain A

ポリゴンデータが登録されていません。
右の「アップロード」ボタンから3Dモデルデータを新しく登録してください。

3Dモデルデータ **アップロード**

3Dモデルデータは登録されていません。

詳細情報 **編集**

ステータス ● created

倍率 x1

削除

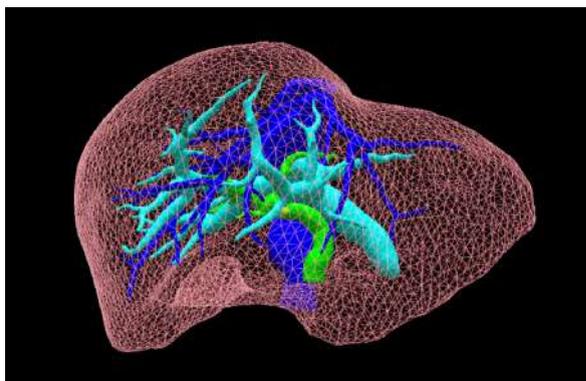
6. 「ファイルを選択する」ボタンから3Dポリゴンデータを選択し、必要事項を入力の上、「登録する」ボタンを選択します。

The screenshot shows the '3D Model Data Addition' page in the Holoeyes XR application. The interface includes a breadcrumb trail '3Dモデルデータ追加', a file selection button 'ファイルを選択する' (with 'spine.obj' selected), a 3D model viewer showing a wireframe of a spine, a text input field for 'モデル名/ラベル名' (Model Name/Label Name) containing 'Spine', a color selection grid, a checkbox for 'ワイヤーフレームの適用' (Apply Wireframe), and a '登録する' (Register) button. Red callout boxes provide the following information:

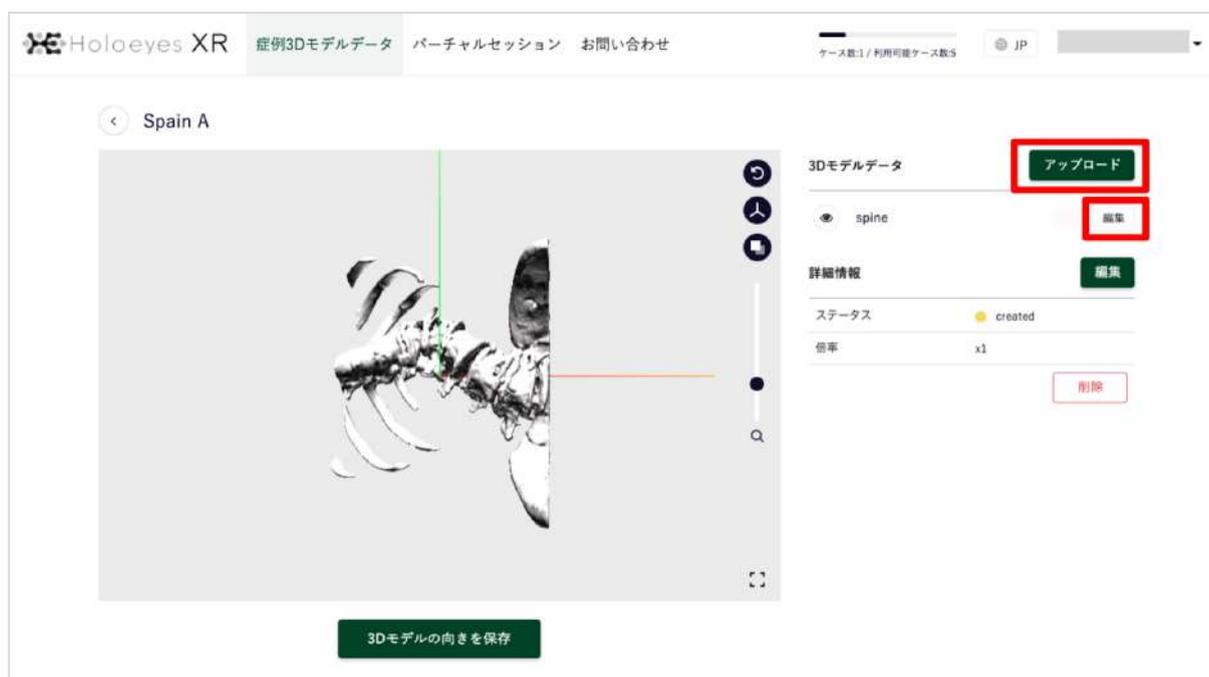
- 戻るボタン**: Points to the back arrow in the breadcrumb trail.
- アップロードしたファイルの名前が自動で反映されます。変更も可能です。ここで設定した名前は、アプリ内のレイヤー名/ラベル名に反映されます。**: Points to the file name 'spine.obj'.
- 任意の色を選択します。「カスタム」を選択すると、一覧にない色も設定できます。**: Points to the 'カスタム' (Custom) color option in the grid.
- 初期表示で「ワイヤーフレーム表示にするかを設定します。アプリ内でも変更できます。**: Points to the 'ワイヤーフレーム表示にする' checkbox.

💡 参照

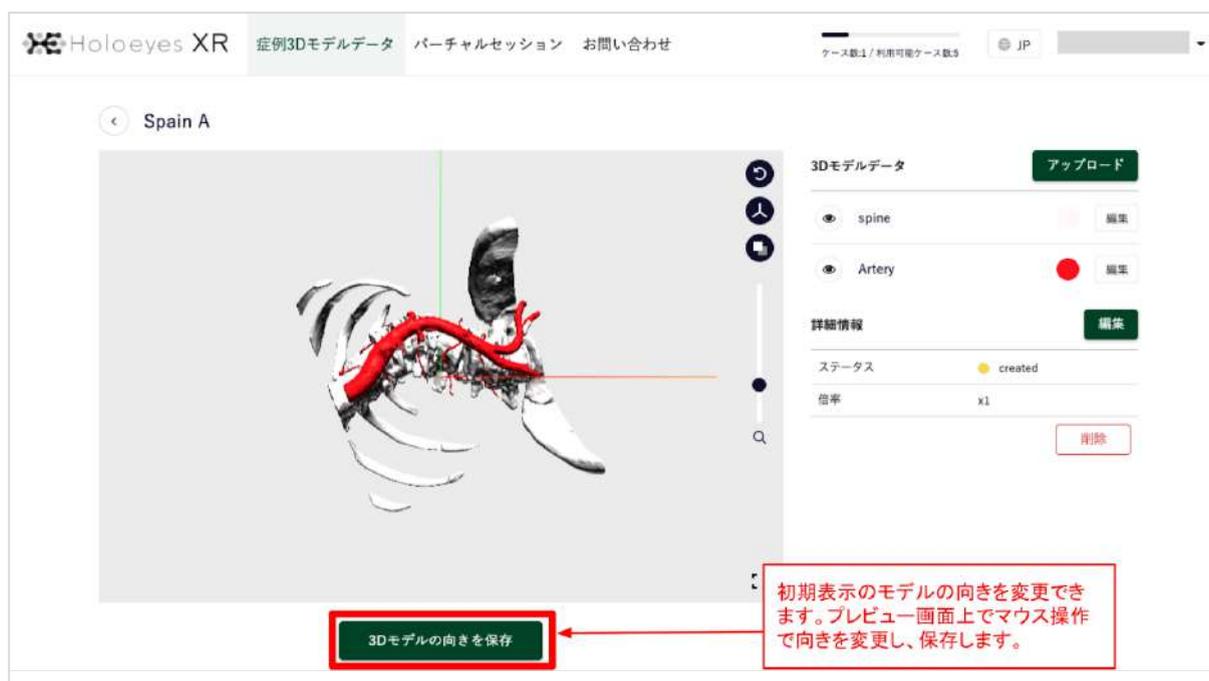
- アプリ内で変更できるのはワイヤーフレームの適用のみです。モデル名/ラベル名や色を変更する場合には、サービスサイト上で操作をします。
- ワイヤーフレームを適用すると、下図の肝臓（ピンク）のように頂点と輪郭線のみの骨組みでの表示になります。



7. 3Dポリゴンデータが複数ある場合は、5~6と同じ手順でデータをアップロードします。アップロード済みのデータは「編集」ボタンから設定の変更や削除ができます。



8. 全ての3Dポリゴンデータのアップロードが完了しました。初期表示の3Dモデルの向きは任意で変更できます。



9. データをヘッドセットで閲覧できる形式に変換します。スクロールダウンし、お手持ちのヘッドセットの欄の「リクエストする」ボタンを選択します。



💡 参照

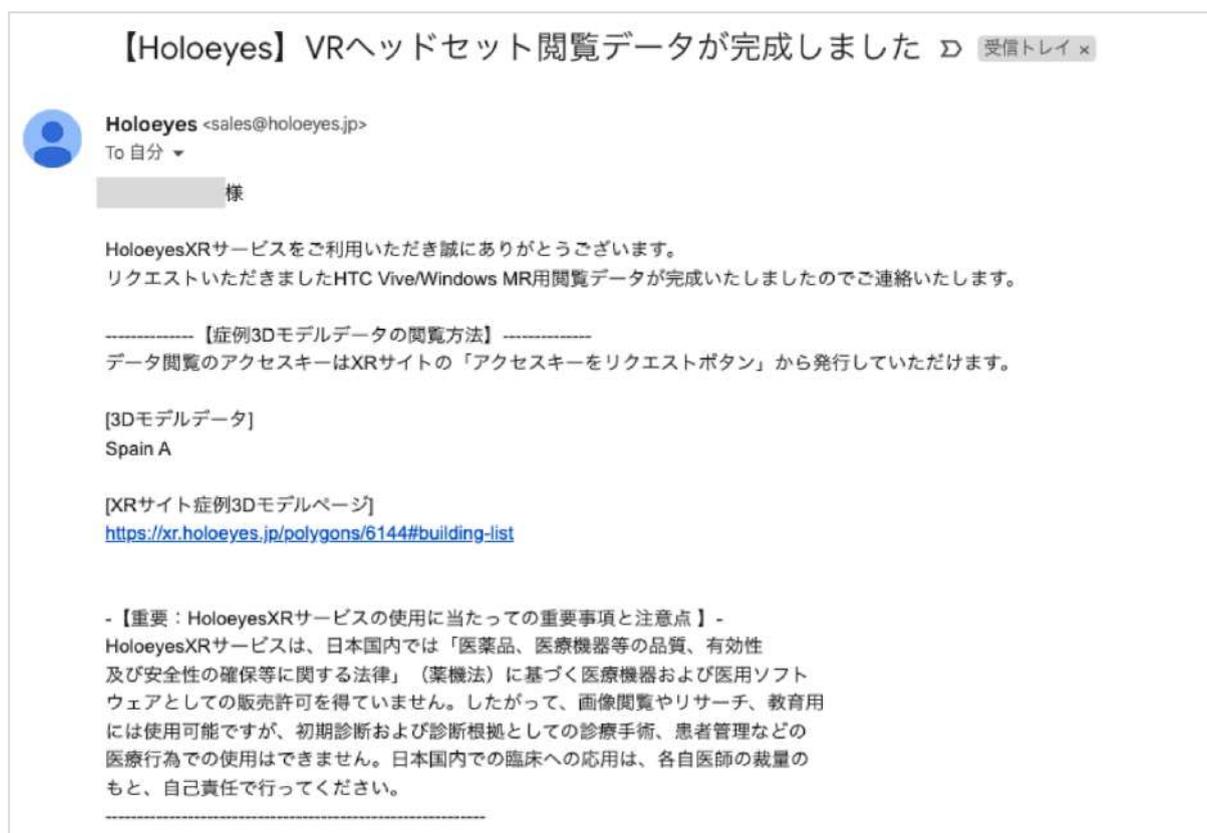
- 必要なヘッドセットのデータのみをリクエストしてください。ヘッドセットの種類が増えるほど、データ変換に時間を要します。
- STL形式のデータは、内部でOBJ形式に変換を行っており、この変換が終わるまで「リクエストする」ボタンは無効になっています。



10. 続いて表示される確認ダイアログの「OK」ボタンを選択します。



11. 5～15分程度でデータが自動生成され、登録メールアドレスに通知が届きます。



12. メールに記載の [XRサイト症例3Dモデルページ] のリンクへアクセスするとアクセスキー（6桁の数字）が表示されます。このアクセスキーをアプリ内で入力すると、症例3Dモデルデータがダウンロードできます。

HoloeyesXRアプリ

アプリケーションをVRヘッドセットで使用するには登録した症例でデータ作成を行う必要があります。
下記から必要なデバイスのデータ作成を行ってください。

 HTC Vive / Windows MR	🔍 500405	⋮
 HoloLens/HoloLens 2	リクエストする	?
 Mirage Solo	リクエストする	?
 Meta Quest (Oculus Quest)	リクエストする	?
 Magic Leap One	リクエストする	?

参照

1. アクセスキーの再発行

アクセスキーは発行後30分間のみ有効です。アクセスキーが無効になった場合（数字が表示されていない場合）には、「アクセスキーをリクエスト」ボタンを選択すると、アクセスキーが**再発行**されます。

※症例3Dモデルデータの編集（STL/OBJファイルの追加や色の変更など）を行った場合は、アクセスキーの発行手順が異なります。次項「2. アクセスキーの再リクエスト」をご参照ください。



2. アクセスキーの再リクエスト

症例3Dモデルデータの編集（STLファイルの追加や色の変更など）を行った後は、アクセスキーの**再リクエスト**が必要です。お手持ちのヘッドセットの欄の右端のボタンを選択し、続いて「再リクエストする」を選択してください。5～15分程度でデータが自動生成され、登録メールアドレスに通知が届きます。

※前項「1. アクセスキーの再発行」の手順では、データの編集内容が反映されません。ご注意ください。



3. 各種取扱説明書

お手持ちのヘッドセットの欄の右端のボタンを選択し、続いて「アプリの使い方を見る」を選択すると、取扱説明書（アプリのインストール手順やアプリの使い方）が表示されます。



改訂履歴

日付	内容
2022年10月12日	3Dモデルアップロード手順書の仕様の修正
2023年3月17日	仕様変更及び機能改善による画面改修を反映